

第4回農業ITカンファレンス（千葉）

千葉県地域IT化推進協議会と「IT利活用フォーラム」を合同開催し、ビックデータ・オープンデータがどのように農業に活かされているのかを学びとともに、IT農業を実践する営農者と農業ITに取り組むベンダーの交流を目的とした「IT企業と農業と地域の活性化」をテーマに千葉市で開催しました。120名を超える参加申込みがあり関心の高さが伺えます。

11月6日(木)

(1) 13:40～14:45 セミナー1

株式会社インターネットイニシアティブ サービスオペレーション本部 サービス企画推進室長の富米野孝徳様から公共情報のオープンデータ化と利活用についてお話をお聞きしました。気象データなど様々な公共情報が公開されており、その取得方法や活用事例など紹介されました。



CHISA 須田会長挨拶

(2) 14:45～15:30 セミナー2

独立行政法人防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域の田口仁様からオープンデータを活用した地域防災の実践事例として流山市の取組みについてお話をお聞きしました。流山市では災害リスク等の行政情報がオープン化されており、住民や企業等の民間が使いやすい形になっており、スマートフォン用のAPIなども公開されている事例を紹介されました。



ITベンダー展示

(3) 15:45～16:30 セミナー3

城西国際大学 メディア学部長 袁福之様から観光と地域ブランディングのための映像とソーシャルメディアの有効活用についてお話をお聞きしました。少子高齢化が進み、地域社会の機能低下を防ぐためには従来の公共工事に偏重した社会資本整備や工場誘致の外来型開発主義ではなく、歴史・風土・文化など地域に内在する条件に立脚した地域振興が重要であると言われました。



セミナー

(4) 16:30～17:00 セミナー4

日本農業情報システム協会 理事・事務局長 堀明人様から農業におけるオープンデータ・ビックデータの可能性についてお話をお聞きしました。作物別の全国横断的なデータの活用から個人レベルでの積算温度やSNSでの情報共有まで幅広く使われている現状が紹介されました。



養液循環式植物工場

(5) 17:30～21:00 交流会・二次会

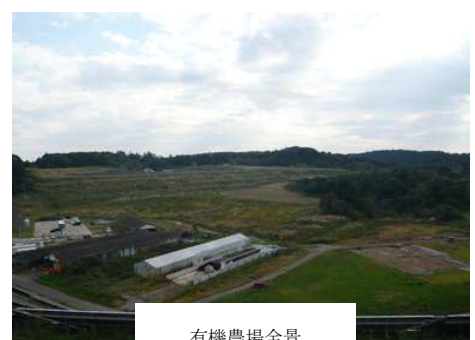
会場ホテルの一室で交流会を開催。プレゼンテーションや意見交換が活発に行われました。

11月7日(金)

(1) 9:00～16:00 視察会

養液循環式の植物工場、千葉市内と言う立地を活かした体験型アミューズメントファーム、30年前に閉鎖された牧場跡地を再開墾して自然バランスを活かした有機農業を視察しました。いずれもITを活用した工程管理、受発注管理をはじめ、様々なところでITが使われています。ITを使うメリットや今後の課題など直接お話を聞くことができました。しかし、どれだけIT化しても最後は人間の確認が必要になり、ITに頼りすぎることへの警鐘もありました。最後にかずさDNA研究所を視察し、ゲノム解析の最先端を見せて頂きました。

(ANIA事務局 武田雅哉)



有機農場全景